

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7-11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

安心して学べる学校を！

いまこそ教育条件整備をすすめるとき

6月からの学校再開に向けて各学校では、感染を広げないために、知恵を出し合って子どもたちを受け入れる準備がすすめられています。しかし、感染防止策をすすめるためのマスクや消毒液、フェイスシールド、防護服(エプロンなど)、などがまったく足りない状況です。また、この間の児童生徒数の急増による「過大・過密」化が各学校で進行し、「スクールバスの密をさげられない」「長時間通学によるリスクが高い」「教室が足りず圧縮学級で子どもたちが詰め込まれているので心配」「子どもたちの安全のためには展開教室や教職員増が不可欠」など、切実な声が寄せられています。いまこそ、地域に根ざした適

子どもたちが安心して学べる学校をめざして

事前に専門家会議にはかることなく、医学的な知見や科学的根拠も示さず、安倍首相の無責任な「政治判断」ではじまった全国一斉臨時休校要請から3カ月が経ちました。5月21日、府教委は「府立学校における教育活動の再開等について(通知)」を发出し、6月1日から段階的に教育活動を再開する旨を通知しました。感染症拡大防止に向けて、科学的・合理的な感染症対策に全力をあげるとともに、学校再開に向けて子どもと教育をまもるとりくみをすすめていきましょう。

要求実現で、喜びの聲が届きました！

○私は職場が近く、電車に乗る時間は30分程度です。それでも3月は電車に乗るのが恐怖でした。30分が1時間にも感じられ、早く電車から降りたい気持ちでいっぱいでした。だから車通勤が認められたときは本当によかったと思いました。今回、車通勤を認めていただいた背景には、組合がいのちを守ることを訴えてくれたことが大きかったのだと思います。自分や家族のことを守ることができて本当に感謝しています。

○非常勤講師です。今回の休校措置では、学校から何も連絡がなく、とても不安でした。4月中旬に他校では非常勤が出勤していると聞き驚いて、組合に連絡をしました。すぐに府教委に問い合わせをして頂き、その後、私たちにもテレワークが認められました。非常勤という立場は弱いですが、私たちも学校の一員として子どもたちのために働いているという自負を持っています。今回、私たちの声に応じて、府下全体の問題として取り組み、要求を実現してくれました。さすが組合！と力強く思いました。

正規模の障害児学校建設をすすめる、安心してゆきとどいた教育をすすめられる教育条件整備を求めていくことを呼びかけます。

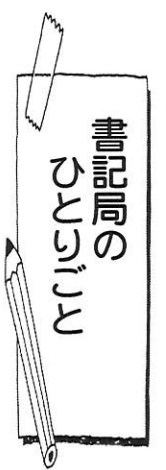
4月9日にも休業期間中の子どもたちの「居場所の確保」やすべての教職員の感染防止のために更なる措置を行うことを求めて申し入れを行いました(右囲み参照)。

新型コロナ対策で

「在宅勤務」「自動車通勤」等を実現

一要求実現一

- 職員・親族の発熱等の風邪症状の職免(3月1日に遡って適用)
- 臨時休業での子の世話を行なうための職免(3月1日に遡って適用)
- 感染防止のための「自動車等による通勤」が可能(4月13日～)
- 感染防止のための「在宅勤務」の実施(常勤教職員:4月15日～、非常勤職員:4月28日～、5月22日に当分の間継続について通知発出)



緊急事態宣言で「ステイホーム」が呼びかけられた。増えるストレス解消に、テレビをネットにつないでDVDをレンタルした。借りたのは、「半沢直樹」「下町ロケット」「コンフィデンスマン」「ハケンの品格」「重版出来」(じゅうはんしゅつたい)。いずれも旧作テレビドラマだ。ドラマの好みは人それぞれだが、私は安心して観ることができ、スッキリする「勸善懲悪」が好き。

絵本の学習会で、「同じ絵本は展開が決まっています、子どもが安心できる」との話聞いたことがあるが、うなずける。

さて、ドラマには主人公が様々なキャラクターで登場する。話から外れるが、「下町ロケット」の主人公「佃航平」演じる阿部寛の活舌の悪さに爆笑した。「下町シリーズ」は四作あり、回を重ねるごとに活舌が悪くなる。四作目「ヤタガラス」で、佃製作所は農耕機のトランスミッション開発を手掛けるのだが、阿部寛の「トランスミッション」は、ほぼ聞き取れない。「重版出来」は予想以上に良かった。原作は松田奈緒子で、月間スピリッツの連載漫画だ。主人公の「黒沢心」は、漫画雑誌「週刊バイブス」の新人編集者で、黒木華がドラマで初主演した。小日向文世が、「コンフィデンスマン」で演じた詐欺師と全く違うキャラクターの漫画家を演じており、俳優はさすがだなと感じた。最終話で、その漫画家が苦悩する新人漫画家に次のように話す。「私もまだまだ知らないことだらけです。君が思っているよりずっと世界はひろいよ。」小日向文世が演じた、漫画家「三蔵山龍」のような懐の深い人間にあらがれる。(久)

休み中の子どもたちは？保護者は？

アンケートに見る子どもと家庭の状況

3月から始まった長い休業期間。子どもたちはいったいどのように過ごしていたのでしょうか。

大教組障教部、全国障害者問題研究会大阪支部、大阪障害児・者を守る会、大阪の障害児教育をよくする会は、3月の中旬から下旬にかけて障害のある子どもの保護者を対象に「新型コロナウイルス感染防止のための学校臨時休業に伴う子どもと各家庭の状況調査」を行いました。

ここではこのアンケート調査に寄せられた保護者の声を紹介します。そして休校中の子どもたちや保護者が大変だった状況を少しでも共有できればと思います。

○2学期は不登校でしたが、3学期やつと登校することになった。元気のなさにマスクをしなげるところに休校になりました。また学校に行けなくなるのではと心配です。ストレスからこだわりや問題行動が増えています。

○子どもは重度の自閉症スペクトラムなので、自分が元気のなさにマスクをしなげればならないことが理解できずパニック状態に。また、お休みに行っている図書館が休みでパニック。色々な所を触るので、人が多いところを避けて行っている。

○子どもがデイに行っている間に子どもを連れていけない用事をしようとするが、申請・更新時期で、役所だけで5回、その他、学校、デイ、病院、銀行と目が回る忙しさで、母は限界を感じ利用していなかった曜日もデイを頼むが受け入れてもらえませんでした。

○シングルマザーで働いています。放課後等デイサービスの預り時間は、午後1時半から午後5時までなので、働いている時間では、使えない。仕方なく自分の母親の家で見てもらったが、おばあちゃんも2日で限界だとのこと。困って学校に受け入れてほしいと相談して受け入れてもらえることになった。

府教委「オンライン授業の実施体制の構築」に関して

課題と問題点が山積

府教委は5月15日、該当する府立学校に「オンライン授業の実施体制の構築について」を「依頼」しました。一週間を超える臨時休業が生じた場合、生徒に家庭学習を課することを念頭に、6月19日までに各学校に実施体制を構築するよう要請しています。

オンライン授業の概念

府教委は、「生徒への学習課題の指示と解説の配信」「生徒からの質問対応」「生徒による課題の提出」という一連の流れをインターネットにおいて実施することを「オンライン授業」としています。

対象となる学校

府教委の実施要綱には、対象校として「府立高校（通信制を除く）及び関係府立支援学校高等部」と明記されています。「関係府立支援学校高等部」については、府教委は「視覚支援学校・聴覚支援学校・病弱支援学校・職業学科を設置する高等支援学校」と説明しています。

コロナによる子どもと教育への影響は甚大です。子どもたちは新しい出会いの機会が保障されないうまま、日々の生活を送っています。人と人との関わり合いの中でこそ保障できる成長・発達があります。6月より学校が順次再開されますが、4月にならなかつた新しい出会いの場をいかにつくり、学校が子どもたちにとって安心して過ごせる居場所であることを伝えることが必要です。

コロナ再燃に伴う長期休業が生じないことを願います。

抜本的な条件整備を

障害児学校の「過密」と通学バスによる長時間通学を解消するために、学校の抜本的増設は急務です。小中学校の40人学級では「物理的距離」を確保できません。人的・物的体制の整備が必要です。感染予防や子どもへの体調把握など、養護教諭の業務増大が懸念され、その増員も必要です。加えて、ただちに教職員の検査体制を整えるべきです。また、現在実施されている自動車通勤等の継続、妊娠中の教職員、基礎疾患のある教職員の必要な在宅勤務が可能となるよう体制を確立することも求められます。

(藤井寺支援学校分会)

田崎尚弘